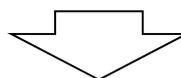


# 国道6号(四倉～広野間)のTDMの取り組み

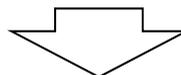
## <震災後>

- 原発・除染作業従事者の居住地はいわき市が中心であり、通勤ルートとして、常磐道と国道6号を利用
- ⇒通勤時間帯に渋滞が発生(広野工業団地入口交差点 渋滞長 2,300m)

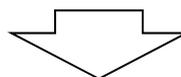


## <平成25年3月>

- 関係機関にて検討会を立ち上げ対策を検討  
(国交省、環境省、福島県、いわき市、広野町、NEXCO、警察 等)



- 以下の対策を実施
  - ①通勤時間の分散(時差出勤やサマータイムの実施)
  - ②ルートの分散(通勤ルートの変更)
  - ③交通モードの分散(公共交通の利用促進)
  - ④交通需要の低減(作業員宿舎の移動)
  - ⑤信号現示の調整
- ⇒取組により渋滞緩和(広野工業団地入口交差点 渋滞長 2,300m→0m)



## <～現在>

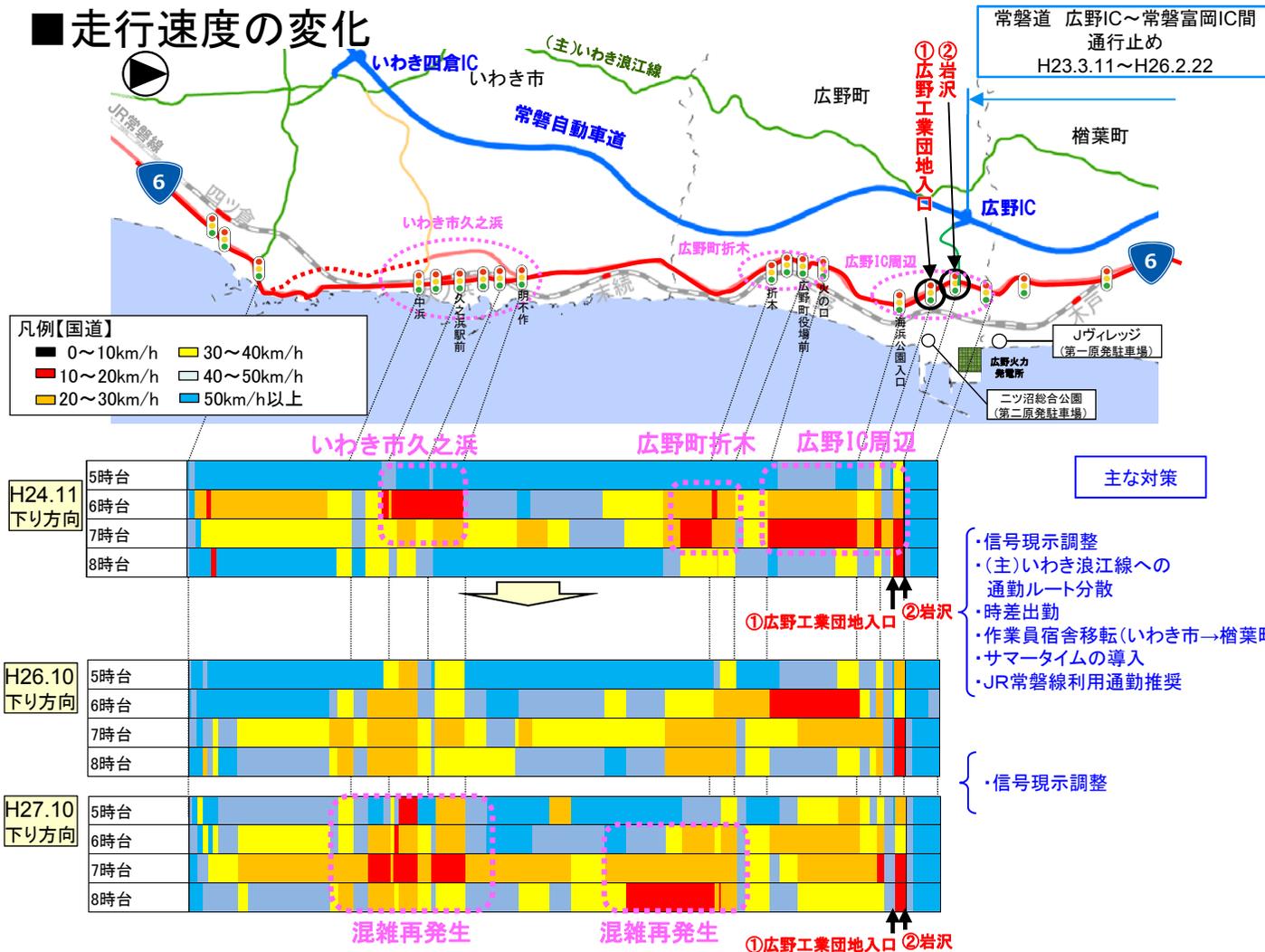
- モニタリングを継続し、必要に応じ追加対策の検討を実施

# 国道6号(四倉～広野間)のTDMの取り組み <結果> 国土交通省

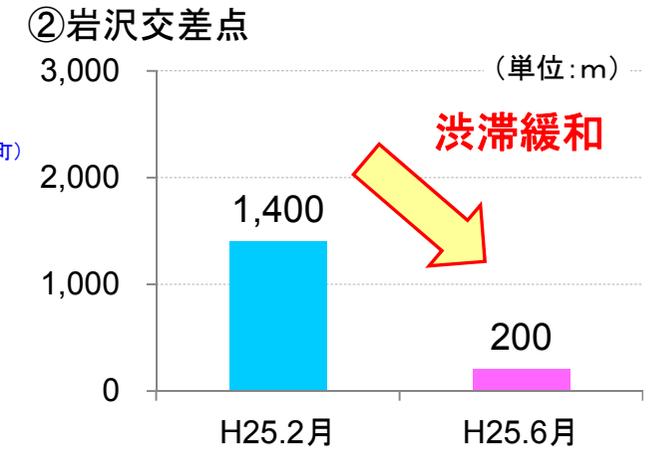
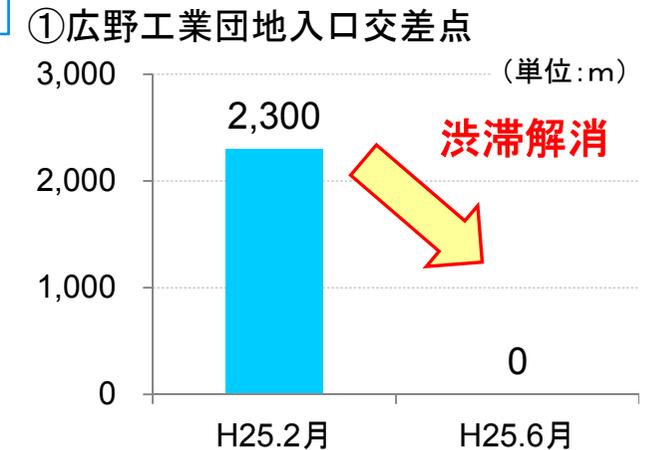
資料6-2

- 平成24年には、広野IC周辺の広野工業団地入口交差点や岩沢交差点を先頭に長い渋滞が発生したが、TDMの取組により渋滞が緩和
- しかし、平成27年にはいわき市久之浜や広野町折木周辺で20km/h未満の箇所が見られる等渋滞が悪化

## ■ 走行速度の変化



## ■ 渋滞長の変化



出典：渋滞長調査結果